

一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第3回 定例会)

質問順位	9	12番議員	松石信男
質問事項1	西日本豪雨への対応、減災対策の課題について		
質問の要旨	<p>西日本豪雨は大きな被害をもたらし、犠牲者も200人を超えるなど平成で最悪の豪雨災害となった。基山町では、これまで経験したこともない集中豪雨で、犠牲者は幸いに一人も出なかったが、特に丸林地区を中心に全壊が2戸、宅内土砂流入が10戸など、町道、農地・農業施設、林道、基肄城跡などが甚大な被害を受け、激甚災害指定を受けた。いま必要なものは、被災者が日常生活を取り戻し、希望を持って前に進めるように行政の役割が求められている。</p>		
具体的な質問及び質問の相手	<p>(1) 災害復旧状況と今後の見通しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 丸林地区 イ 亀の甲ため池 ウ 町道 エ 河川・水路 オ 基肄城跡 		町長
	<p>(2) 被災者支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 全壊世帯に対する支援は イ 山間部ののり面崩壊による農林業、農地被害、ワイヤーメッシュに対する支援は ウ 家屋解体、宅地内の土砂撤去、民有地の土砂、がれき撤去、土のう袋などの支援は 		町長
	<p>(3) 西日本豪雨で、川が決壊し50人の死者が出た倉敷市真備町地区では、ハザードマップが作成、配布されていたが住民の避難に活かされなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 町では「土砂災害ハザードマップ」が配布されているが、今回の豪雨に活かされたのか イ ハザードマップに示された川の氾濫による浸水状況は 		町長
	<p>(4) 自治体の避難情報の出し方と住民の避難の実態、避難者が少なかったことが問題になっている。「本当に危ない人にどう伝えるべきなのか」を問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 避難情報発令について、タイミングや内容、地域指定、情報発信の方法はどうだったのか 		町長

	<p>イ 避難情報を出す際、大雨特別警報などの気象情報と、避難準備・高齢者避難開始、避難勧告、避難指示はどう伝えたのか。避難対象地域、人口、避難者の人数、避難率は</p> <p>ウ 自主防災組織はどう対応したのか</p> <p>エ 地域防災リーダーの役割は、どう発揮されたのか</p> <p>(5) 今回の豪雨災害の課題や教訓について示せ</p>	町 長
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----

質問事項 2	国民健康保険税について	
質問の要旨	<p>町民の声として「国保税の負担が重い、払える国保税にして欲しい」との声がある。国保の県単位化で今後国保税が上がるのではないかとの不安がある。いま必要なのは、社会保障としての国保制度が、病気になっても安心して病院にかかれるようにセーフティネットとしての役割をしっかりと果たすことが求められている。</p>	
具体的な質問及び質問の相手	<p>(1) 資格証明書、短期保険証の発行件数、国保税の滞納世帯数及び18歳未満の子どもがいる世帯の交付件数を示せ</p> <p>(2) 病院の医療費が全額自己負担になる資格証明書の発行と対応について示せ</p> <p>(3) 国保税と一部負担金の減免について問う</p> <p>ア 国保税と一部負担金の減免の対象となる世帯はどのような世帯か。申請件数は</p> <p>イ 減免内容は、どう町民に周知しているのか</p> <p>ウ 今回の豪雨被災者には国保税、後期高齢者保険料の減免と、一部負担金の減免の適用はできるのではないか</p> <p>エ 減免に必要な財源は、どうなっているのか</p> <p>(4) 国保の県単位化により、国保税や減免制度の統一基準の議論はどうなっているのか。町の対応は</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>